

教員のICT活用指導力及び効果的な活用例

A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力

項目	基本的なスキル	効果的な活用場面例
A-1	コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画する。	・学習内容によって、一斉に活用、自由に活用、活用を選択などの場面を計画している。 ・児童生徒の状況を見ながら、計画を変更している。
A-2	インターネットを活用して、授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集める。 インターネットを活用して、保護者・地域との連携に必要な情報を発信する。	・著作権を踏まえ、資料として活用するための方法を知っている。また、活用できるか否かを調べる方法を知っている。 ・発信する情報等について、必要に応じてパスワードをかけている。
A-3	ワープロソフトを活用して、授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成する。 表計算ソフトを活用して、授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成する。 プレゼンテーションソフトを活用して、授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成する。	※ パソコン検定 準2級程度のスキル習得
A-4	児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理する。	・児童生徒の変容・成長がわかるように記録している。 ・児童生徒、保護者面談において、記録を見せながら成長や評価等を説明している。

B 授業にICTを活用して指導する能力

項目	基本的なスキル	効果的な活用場面例
B-1	コンピュータや提示装置などを活用して資料などを提示する。	・児童生徒が詳しく見たい部分を素早く拡大して見せている。 ・複数の資料を別々に提示した後、並べて比較させたり、必要な児童生徒の学習端末に資料を送ったりしている。
B-2	コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見を提示する。 コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の作品を提示する。	・児童生徒の意見や作品を発信するように促し、一覧にして表示、共通・相違の分類、着目する意見の拡大をしている。 ・児童生徒の意見を円グラフや棒グラフなどに表している。 ・提示した児童生徒の意見や考えに必要なことを書き込んでいる。 ・話し合わせたい意見や作品等を選択し、児童生徒個々の端末に送信している。
B-3	学習用ソフトウェアなどを児童生徒に取り組ませる。	・児童生徒の理解・習熟に応じた問題に取り組ませ、その進捗をコンピュータ等で把握・記録している。 ・発展的な問題に取り組みたい児童生徒に、適切な問題を示している。また、問題を収集する方法を知っている。
B-4	コンピュータやソフトウェアなどを活用し、グループで話し合っって考えをまとめさせる。 コンピュータやソフトウェアなどを活用し、グループで協働してレポート・資料・作品などを制作させる。	・児童生徒の考えの内容や話し合いの状況に応じて、意見の集約、分類などの方法を示したりや必要なソフト等を活用したりする。 ・資料や作品の種類によって、写真、アニメ、動画などを挿入させている。 ・制作の過程を提示装置などで提示したり、録画して後から振り返らせたりしている。

C 児童生徒のICT活用を指導する能力

項目	基本的なスキル	効果的な活用場面例
C-1	コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を指導する。	※ 情報活用能力体系表例の情報技術に関する技能の指導 ・ゲーム感覚で文字入力の練習ができるソフト等を知っており、活用している。
C-2	コンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。	・信頼できる情報の収集・選択の仕方を指導している。
C-3	ワープロソフトの活用を指導する。 表計算ソフトの活用を指導する。 プレゼンテーションソフトの活用を指導する。	・相手や目的に応じて、デザインの選択、写真、アニメ、動画などの挿入の仕方を指導する。 ・表計算ソフトの便利さ（合計・平均等の数式、グラフの作成等）を指導する。
C-4	コンピュータやソフトウェアなどを活用して、考えを交換・共有して話し合いなどができるように指導する。	・意見共有機能の使い方を指導する。 ・話し合いで深めたことや修正したことなどが分かるように記録したり保存したりする